

# 東京都公民館研究大会が開催されました

12月9日(日)、「公民館は地域の絆」をテーマに第50回東京都公民館研究大会(主催:東京都公民館連絡協議会 会場:東村山市立中央公民館 当日参加者 254人)が開催されました。福生市公民館は第2課題別集會を担当、三多摩の公民館職員・公民館運営審議委員会委員・市民の皆さん77人(助言者等含む)が熱く語りあいました。



第2課題別集會の様子(壇上左から黒沢氏、野村氏、野澤氏)

**基調講演**  
**公民館は地域の絆**  
午前中は石井山竜平氏(東北大学大学院准教授)の基調講演。東日本大震災直後に避難所となった公民館の状況や地域住民が少しでも日常を取り戻すための活動拠点としての役割や課題について、事例を通してお話しいただきました。

**三つの課題別集會**  
午後からは三つの課題別集會に分かれ、それぞれの課題を深めました。  
**第1課題別集會(担当:西東京市)**  
**3.11東日本大震災以後の公民館の役割と地域・きずな**  
午前中の基調講演を受け、西東京市と福島県新地町の公民館まつりを通じて復興支援についての事例報告や助言者の石井山竜平氏による「まち」の復興における社会教育の活用についてのお話がありました。  
**第2課題別集會(担当:福生市)**  
**公民館との出会いから地域の活動へ**  
※福生市公民館が企画・運営を手がけましたので詳しくお知らせします。  
公民館をきっかけに仲間とながり、地域で活動を続けている事例を聞き、公民館が地域の絆づくりに果たす役割を考えました。

企画・運営は職員とともに公民館運営審議会の高水委員、前田委員が研究大会企画運営委員として担っていただきました。また、公民館運営審議委員会委員の皆さんが受付、記録・発表等に協力していただきました。事例報告では、野村亮氏(NPO法人自然環境アカデミー事務局長)から公民館との出会いやそこでの職員や地域の大人とつながり、サークル活動からNPOを立ち上げたいきさつ、現在の活動を通して再び公民館と関わり、地域の大人として地域の教育力向上に取り組んでいることが報告され

ました。続いて黒沢吉信氏(熊川分水に親しむ会代表)からは熊川分水という地域の資産を保全・活用するために仲間とつながり、活動を推進してきた経過や行政との関わり、そして公民館との協働事業などについて報告がありました。助言者の野澤久人氏(前福生市長)から「公民館との関わりや地域で力を発揮していることの重要性」「まちづくりのための問題解決学習の必要性」「継続的・長期的な視点の重要性」など5点を論点として整理していただきました。グループ討議では各市の実践を出し合いながら活発な議論が行われました。「私の中の社会教育の概念が広がった」「地域に学びを還元していくことが大事だ」など多くの意見や感想が出されました。

最後に野澤氏から「公民館活動に公共性が問われている今、まちづくりの原動力になっていく自覚を持つてほしい。つながりを作るのは公民館しかない。公民館設置の原点に立ちかえり、大いにがんばってほしい」とまとめていただきました。  
**第3課題別集會(担当:狛江市)**  
**公民館はじめての一步**  
事例報告で職員と公民館運営審議委員会委員から、短期間での職員の異動が教育機関として住民に責任をもつて対応できていない状況や職員、委員とも研修が十分に保障されていない現状が報告されました。助言者の片野親義氏(大東文化大学非常勤講師)は様々な機会を通して、絶えず学習を継続していくことが大切である、とまとめられました。  
※記録集については後日、東村山市のホームページに掲載される予定です。

## 第21回男女共同参画フォーラム

# 1/26 (土) 男子厨房に入らざるば、人生また楽しからざる

AM10:00~

とかく、男女共同参画、男女平等などというワード、「エッ、男女平等?」と引いてしまったり、「すでに男男女女平等の時代じゃないの?」とか、「今さら男女共同参画社会の実現なんか、なんで取り上げるの?」という声が聞かれます。

確かに、社会的・制度的には改善されつつあり、表向きには男女差別は見えにくいのですが、はたして現実の生活はどうでしょうか。私たちの暮らしや習慣、意識の中には、まだまだ性別による役割分業意識が潜在的にあるのではないのでしょうか。

足元からもう一度見直してみませんか?

第21回男女共同参画フォーラム  
実行委員長 田中加代

第21回男女共同参画フォーラムは「男子厨房に入らざるば、人生また楽しからざる」と題し開催いたします。平成11年、男女共同参画社会基本法が制定され、すでに13年が経過しています。福生市の男女共同参画行動計画も第4期に入っています。

この間、教育現場や職場において男女平等を基本とした取り組みがなされていますが、本当に男女平等社会は実現しているのでしょうか。

私たち実行委員会では7月から7回の会議を重ね、フォーラムの内容について企画・検討してきました。最初は実行委員会の中でも「今はもう男女差別などあり得ない」という意見も出されました。けれども話し合いを深める中で、「本当に男女平等社会は実現しているのだろうか」「日々の暮らしの中に潜む性別役割分業意識は根深く私たちの中に残っているのではないか」という疑問が出てきました。

そこで今回は男性の料理・家事・育児参加から見えてきたことを取り上げ、皆さんと共に考えたいと思います。ご来場をお待ちしております。

今回のフォーラムでは、「男の料理」を切り口に、60代と30代の男性2人が事例発表をします。二つの事例を通して見えてくる男女共同参画の課題について、意見を交換し、共に考えていきます。

**日時** 1月26日(土) 午前10時~午後0時30分  
**場所** 市民会館・公民館第4・5集會室  
**助言者** 中澤智恵氏(東京学芸大学教育学部准教授)  
**事例発表者** 小野豊氏(福生市公民館サークル「男の台所」代表、長沢巧氏(西東京市「パクラブ」所属)  
**定員** 先着60人(申込み不要、直接会場へ)  
**【手話通訳・託児付】**  
※託児希望の方は、公民館事務所へお問い合わせください。(定員11名先着6人。対象11市内在住の1歳以上未就学の幼児。0歳児は要相談。)  
問合せ 公民館事務所へ



## 公民館事業・参加者募集

**初心者俳句教室**  
「みんなで詠もう五・七・五」  
**日時** 2月22日~3月22日の毎週金曜日 午前10時~正午(全5回)  
※3月8日のみ午前10時~午後2時  
**場所** 公民館松林分館、市内  
**対象** 市内在住・在勤の初心者  
**定員** 先着20人  
**講師** 沢田弥生氏(俳人協会会員)  
**申込み** 2月5日(火) 午前9時から松林分館へ

**小さな鉢に大きな宇宙「盆栽」を楽しもう!**  
**盆栽や鉢植えの見方と手入れの方法**  
**日時** 2月27日、3月6日・13日・27日の水曜日 午前10時~正午(全4回)  
**場所** 公民館松林分館  
**対象** 市内在住、在勤の方  
**定員** 先着20人  
**講師** 細淵謙蔵氏(園芸研究家)  
**申込み** 2月5日(火) 午前9時から松林分館へ

**名曲コンサート2013**  
東日本大震災の被災地に想いを込めてチャリティーコンサートをを行います。  
**日時** 3月3日(日) 午後1時30分~3時30分  
**場所** 市民会館小(つつじ)ホール  
**出演** 橋今日子氏(メソソプラノ)、大井哲也氏(バリトン)、小田切洋子氏(ピアノ)ほか  
※詳しくは広報ふっさ2月1日号に掲載します。